

日本共産党県議会議員

見える
身近な
みんなの県政を



みわ由美 ホット通信

第13号 2010年1月20日

日本共産党みわ由美事務所
Tel 047-349-1544 Fax 047-349-2293
〒270-2252 松戸市千駄堀1810-2

HP「みわ由美笑顔通信」

<http://www.miwa-3838.jp/>

携帯 <http://www.just.st/306410/>

さあ 一緒に政治を前に！



県庁前 知事宛請願行動を
激励する党県議団



12月県議会の会期中 「公
設派遣村」を要求するデモ



初めて招かれた、
県医師会の新年会



昨年は、暮らし雇用守れー国民の怒りが頂点に達し、ごいっしょに自民党政治を退場させることができました。さあ、今年の本気で、「政治を前に」進める年です。ハッ場ダムなど無駄な公共事業をストップさせて、福祉・医療にまわせ、軍事費や

財界大企業の歪みにメスをを入れて、生命・人権守れる政治へ。議会でも、暮らしの相談でも、フル回転で頑張ります。新年早々、初めて千葉県医師会の新年会へとお招きを受け、新鮮に学ばせていただきました。2010年、皆様の笑顔のために走ります。よろしくお願い致します。



左から、さいとう和子(党千葉県青年部長)・田村智子(元国会議員秘書)さん

松戸市議団 (伊藤余一郎、中村たか子、うつの史行、高橋たえこ、高木 健)

県会議員
みわ由美

お困りごと何でも相談

市議団控室 366-7403
みわ事務所 349-1544



解雇に泣き寝入りはしない 安心の医療を



新人柱台関係者が 涙の勝利集会 共にたたかかって本当に良かった

昨年の7月末、突然閉院した新八柱台病院・五香病院の解雇・賃金不払い問題では、多くの人が初めてユニオンに入り、不払賃金を払えなどの要求でたたかいました。新八柱台ではついに、43人分の不払賃金全額の約3千4百万円を確保。1月初めの勝利集会には、みわ県議らが出席しました。（以下、みわ県議の手記です）

不安と戸惑い、そしてユニオンに

勝利集会では、

「（よい医療を受けるための）権利を行使しましょう、と患者さんたちに日頃言っている

私たちが、自らを守ることを諦めてしまつて

いいの。《自分のことは、面倒くさいから

イヤだ》ではなく、《行動しよう》と思つて……」

と組合結成当時を思い起こして、大粒の涙をこぼしながら

話す女性の元職員。そして「まず患者さんたちの転院先を、必

死で確保した。そして気がついてみると、私

はクビ。あれ？私の給料はどうなつてんの？」

不安と混乱と戸惑いの中で、互いにメー

ルで励まし合いながら、集いあつたとも。徹夜同様の日を何日も続けながら、このた

たかいい取り組んだ弁護士の方々も、「難関を突破できたのも皆さんのおかげ」と述べられました。

2病院閉鎖―県は監督責任果たせと交渉 党松戸市議らと共に

日本共産党はこの問題を重視し、当初から県当局にくりかえし働きかけてきました―大きな交渉を2回、日常的にも事務折衝。地域の患者さん

や、解雇・賃金不払いに遭つた元職員の声を代弁し、県の監督責任を厳しく問うてきました。

集会での組合員―その多くは女性―が「泣き寝入りせず、初めて《くみあい》に入った、そして給料が戻ってくる―」と訴えているように、私には映りました。「みんな……今は、違うところで働いているけれど、これからは、私には映りま

最後の言葉には、泣かせられました。

引き続き私も、両病院で解雇された全職員の賃金不払い解決と地域の患者さんたちの医療の確保のために頑張ります。

みわ由美 記

